

社会福祉発展に貢献 26名5団体を表彰 ～第39回階上町社会福祉大会開催～

11月24日、ハートフルプラザにおいて町社会福祉大会が町民の皆様や福祉関係者など約200名が一堂に会し開催されました。

ちょうみん薬局田子店薬剤師 高橋信一氏より「知らなかったでは済まされない?! 実は大損していた? 自分の健康の事!」と題してご講演をいただいた後、大蛇小学校と道仏小学校の児童より、地域でのボランティア活動や福祉体験について発表していただきました。

大会式典では、長年にわたり社会福祉発展にご貢献された社会福祉関係者、高額寄付者、高額物品寄付者、社会福祉作文入選者への表彰や、第38回階上町社会福祉作文で最優秀に選ばれた柳沢亜美さん（階上小5年）、寅谷真斗さん（道仏中3年）の作文発表が行われました。

会場内では、介護機器の展示や町母子寡婦福祉会の物品販売、町手をつなぐ育成会のコーヒーマーケット販売なども行われました。

受賞、おめでとうございます。（敬称略・順不同）

名誉大会長授与

・福祉団体役員等永年勤続者

畑中 弘實（町社協評議員）	野沢千恵子（町身体障害者福祉会役員）
福館富美子（階上保育園職員）	柳沢 正子（ほのほの交流協力員）
濱道登美子（ほのほの交流協力員）	大向 千秋（ほのほの交流協力員）
中屋敷さち子（ほのほの交流協力員）	鈴木 晟爾（心配ごと相談員）
熊谷 登（心配ごと相談員）	

大会長授与

＜感謝の部＞

・高額寄付者（5万円以上寄付者）

田中 ミツ	前田 常男	東山 正樹	小松千恵子
中城 功	河内 宏心	小松 修	花美流律舞会
花美流臥牛会	ボランティアサークルけやき		

・高額物品寄付者

中村ひろ子（介護用ベッド1台）
 地域コミュニティ株式会社（介護用電動ベッド1台）
 有限会社太田技建（車椅子1台）

＜表彰の部＞

・平成29年度階上町社会福祉作文入選者

最優秀 柳沢亜美（階上小5年）	寅谷真斗（道仏中3年）
優秀 下坪美月（赤保内小6年）	秋山月華（道仏中3年）
佳作 八木田くるみ（赤保内小4年）	田中 惺（赤保内小4年）
新井田美羽（大蛇小5年）	月館りの（石鉢小6年）
古里京花（階上中2年）	



賞状を受ける畑中弘實さん



講師の高橋信一氏



ボランティア推進校活動発表（大蛇小学校）



ボランティア推進校活動発表（道仏小学校）

平成29年度チャリティバザー寄付者（敬称略・順不同）

地区名	寄付者名
石 鉢	郷州義雄、大谷地義雄、似内貴美子、中村ヨネ子、野沢トキ、佐々木ミサ、中村ひろ子、坂上コト、秋山カツ、長坂豊子、宗前ウメ、郷州久子、竹谷アサ子
蒼 前	小室行弘、菊池聖貴、西館勇、高橋久造、木村鉄男、服部隆穂、佐々木徳雄、鶴飼タエ、山内良子、音喜多祝子、秋田谷旬子、鹿原子ヨ、中村和子、森トミ、大下玲子、石田セツ、川口ヨシ、小松朝子
野 場 中	上重一男、大前靖、高橋茂男、尾本嘉春、斉藤勝広、山中国雄、荒谷豊、佐々木春雄、西塚ささ子、工藤友子、田口コト、馬場扶達江、細越明子、木村幸子、齋藤京子、高橋タキ、熊谷唱子
角 柄 折	松川純悦、松川金次郎、正部家佑介、松川ミチ、宗前ツヤ
金 山 沢	畑中チセ子、阿部秀子、佐藤正子、畑中誠子、柳沢リヨ
田 代	内城君子、戸草内チヨ、水合千枝
晴 山 沢	荻沢一信
平 内	南正人
鳥 屋 部	木村ツセ、伊藤ツサ
赤 保 内	奥山能久、東山京子、野沢シゲ、渡部みどり
耳ヶ吠西	田中真、袖平宏之、十文字康洋、阿部奨、阿部栄子、大久保ミエ、田中綾子、小松千恵子、工藤ナミ、栗橋森子、小松サチ、林崎マツ、阿部咲子
耳ヶ吠東	西田和雄、葛林正、吉内正、菅和男、荒沢宏、釜谷幸男、山口彰、荒沢ハルエ、村元和子、斉藤鈴子、奥山東亜子、藤谷フサエ、田子節子、葛林光子、上野友子、留目慶子、川口芳子、富沢正子、浜浦孝子、山崎ムツ
荒 谷	荒谷恵子
大 蛇	中田兼雄、中田美亀男、中田久夫、前田一男、上野洋、中田牧子、中田タエ子
追 越	中島豊美、松橋竹子
榊	日向登美男、浜谷徳平、浜谷幸夫、浜谷まゆみ、北城八重子、野沢きみ子、橋場良子
駅 前	寅谷正美、守政美、澤雄三、南上邦子、橋場悦子、寅谷玲子、寅谷チエ、浜谷ヤヲエ、竹本肥子、新井田トミ、下坪昭子、有谷智子、小松りつ、松橋たつ、濱浦すみ子、佐藤オテフ
道 仏	桑木勝志、三沢ツル、高山貞子
小 舟 渡	上平裕、下野秀男、下野禮知子、下館ミチエ、下野京子、上平ゆみ子、森由美子、佐藤紀美子、重文字春枝、藤田ティ子
町 外 団 体	川浪孝雄、信田ティ、森一晃 陶芸教室、階上漁業協同組合、道仏中学校

賑わいの二日間
 ご来場ありがとうございました
 十一月四日、五日の二日間、町民文化祭に併催しボランティアサークルけやき主催のチャリティバザーが開催されました。今年は昨年より約五百点多い二、三〇〇点の物品をお寄せい

ただき、二日間とも大盛況のもとほぼ完売となりました。なお、売上金二七二、〇三〇円から必要経費を差し引いた全額を社会福祉活動費として社協へご寄付いただきました。ご来場並びに物品寄付にご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。本紙上をもってお礼にさせていただきます。



あたたかいご寄付 ありがとうございました

○ボランティアサークルけやき 様 金264,630円
 ○匿名 金30,000円
 ○匿名 金2,100円
 ○有限会社 太田技建 様 車椅子1台



ボランティアサークルけやき様



有限会社 太田技建様

弁護士による 無料法律相談

【赤い羽根共同募金配分事業】

～相続・財産・多重債務・土地のトラブルなど～

■日時 12月26日（火）

午後1時から午後3時

（1人20分以内）

■場所 ハートフルプラザ・はしかみ

・相談は予約制（先着6名）です。

予約受付（無料法律相談・心配ごと相談）

階上町社会福祉協議会

☎88-3067



編集発行：社会福祉法人 階上町社会福祉協議会 住所：階上町大字道仏字天当平1-182 ハートフルプラザ・はしかみ内
 ☎0178-88-3067 FAX 88-3069 E-mail: hashikami-shakyo@citrus.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.shakyo.or.jp/hp/220/

この広報誌は、4,600部作成し、印刷経費は1部あたり20.66円です。（県共同募金会から配分を受けて発行しております。）



QRコード

社会福祉作文入選作品

第三十八回社会福祉作文に、今年は四十三編の応募をいただき、審査会において九編の入選作品（最優秀二編、優秀二編、佳作五編）が決まりました。

その中から最優秀の作品をご紹介します。

【最優秀】

「挑戦する心」

階上小五年 柳沢 亜美



「今日はいろんな人が出るんだって。」

「いろんな人って。」

祖母にそう言われ、私は頭をひねりました。この日は、自転車のロードレース全国大会が階上町で行われ、なんと、私の家の前の道路がコースになっていたのです。それにしても、いろんな人が出るってどういうことだろうととても気になった私は、妹と祖母と三人で、玄関の前でさっそく応援することにしました。しばらくすると、私たちの前をものすごいスピードで走りぬける選手を目にししました。一人目が行くと、その後

から二人目、三人目と一体何人出場しているのか分からなくなるほど続いていきます。あまりのかっこよさに、私も自転車の選手になって、ロードレースに出てみたいなあと思いました。でも、私はすぐにあきらめました。無理なのです。私は、今、自転車に乗れません。乗れるようになったとしても、私にはあんなに速く自転車をこぐ自信がないのです。その時です。私は、朝の祖母の言葉を思い出しました。

「今日はいろんな人が出るんだって。」

「いろんな人って。」

どういうことだろう。考えてもさっぱり分からず、私はずっと頭をひねっていました。

すると、二台の自転車が近づいてきました。次のしゅん間、私は目を疑いました。二人とも片足でした。一本の足だけで自転車をこいでいるの

です。私は、もし自分が片足だったらどうしようと考えました。すると、歩くときやお風呂に入るときなど、たくさん不便なことが頭の中を駆けめぐりました。あの人たちは、どうやって生活しているんだろう、片足でペダルをこいでしんどくないのかなあと少し心が痛くなりました。よくみると自転車の上に寝て、手でペダルをこいでいる人もいました。

「あの人は、両足が不自由なんだよ。」

祖母は私に教えてくれました。私は泣きそうになりました。もし、私の足が片足だったら、もし、私の両足が動かなくなったら、学校にも歩いて行けない。みんなと同じことができない。でも、この人たちはペダルをこいでいる。片足で、両手で。気がつく、私はいつの間にか大きな声で応援していました。

「ありがとう。」

自転車の後ろを走っていたオートバイの人の言葉に、私はもっと応援したいという気持ちがいってきました。

このロードレースには、障害を持っている方もそうでない方もたくさん出ていました。障害を持つっている方たち

は、いろんな苦労をしながら生活をしていると思います。それでも、自転車に乗って自分の限界に挑戦していました。自転車に乗れないから、乗れるようになったとしてもペダルをこぐのが遅いからと言いつつ、目の前の辛いことや苦しいことから逃げようとしていた自分はずかしくなりました。どんな障害を持っていても、そのことから逃げず、正面から立ち向かっていく姿に私は感動しました。片足で、両手でペダルをこぐ方々の姿をいつまでも忘れずに、挑戦し続ける自分になろうと思います。



いつもと変わらぬ朝でした。「行ってきます。」その日は一学期の終業式で、「明日から夏休みだ」と少し浮かれた気持ちでいました。通知票をもらって普段よりかなり早い帰宅でした。「ただいま。」いつもは誰もいない家なのに、この日はなぜか家族全員がそろっていたのです。

「何だかいつもと違うな」と思いながら、カバンを置き辺りを見渡すと、リビングのソファに、姉が一点を見つめて座っていました。僕はやつと異変に気づきました。

「何かあったの？」

すると母は、姉が倒れて病院へ行ってきたと教えてくれました。僕はそれを聞いた瞬間、頭が真っ白になり信じられませんでした。あの元気だった姉は、倒れた衝撃で何も見えなくなっていました。「普通に職場に通い、元気だった姉がそんなことになるはずがな

【最優秀】

「家族の絆」

道仏中三年 寅谷 真斗



い「ショックを受けた僕はとっさに「嘘だろう」と思い、試すかのように、姉の前に立ったり変な顔をしたりしました。でも、姉は一点を見つめるだけで僕の顔を見ないのです。「本当なんだ……」と現実を受け入れるしかありませんでした。

その日から、家族全員による姉の介護が始まりました。このままずっと見えない状態になつてしまつのか心配で胸が張り裂けそうでした。姉は電気をつけると何とかが明るさは認知するものの、手をつながないと全く歩けない状態です。「どうか見えるようになってほしい」全員が同じ思いで必死に考えました。姉のために何ができるのか、それぞれ

の予定をつきあわせました。とにかく姉が一人で不安な気持ちにならないよう、できることを家族が協力してやりきるしかありません。時間の経過とともに、僕は徐々に冷静さを取り戻していきました。

父は仕事を休んで姉を病院に連れて行きました。「段差があるよ。気をつけて。」と声をかけながら車に乗せました。病院で詳しく調べたら、職場でのストレスが倒れた原因だとわかりました。どれだけストレスをためているのか、それは家族でも気づきにくいことでした。仕事を辞め

る決断をした姉に、「それでいいんじゃないの」と、家族みんなで気持ちを受け止めた。

ちょうど僕は夏休み。父母が仕事でいないときは僕が姉に付き添いました。「本当に見えないの？」と声をかける「見えてない。」と答えが返ってきました。「そうなんだ。大丈夫？」「うん大丈夫。」とそんなやりとりをしながら姉の手をひき、ゆっくりと部屋へと連れて行きました。部屋に出なければならぬ時は、姉が困らないように必要なものを聞いて、準備してから出かけました。部活から真っ直ぐ家に帰って姉の面倒をみました。「ご飯を食べさせたり、トイレに連れて行ったり……。介護というものを初めて経験し、すごく大変だ」ということを実感しました。

一人で姉をみていたある日、「真斗……。」と、どこからか姉の声が聞こえてきました。「どう？」と廊下に出た瞬間、ドン、バタン。姉は頭と首を強く打ちながらまた倒れてしまいました。意識がなくなつた姉を目の前で見た僕は、無我夢中で父と母に電話していました。近くに住んでいた祖父母が助けを呼び、そのまま姉は入院しました。「この先どうなるの？」姉の容態を思い、僕はずっと不安な気

持ちを抱えたままでした。

家族みんなの願いが天に通じたのでしょうか。倒れてからひと月くらいして、ようやく姉は視力を取り戻していききました。壁や棚に自分で手を掛け、少しずつ自分で歩けるようになった時は、本当に嬉しくて、家族みんなで喜びました。「飯も食べさせてもらうところから、自分で食べられるまでに回復しました。みんなそろって夕飯を食べていたある日」「みんな介護ありがとう。」と、姉が言った時の感激がずっと忘れられません。今では元の仕事に復帰し、毎日元気に頑張っています。家族にとつて何よりも嬉しいことでした。

あの日々を振り返ると、さまざまな思いがよみがえってきます。家族の誰かが突然倒れるということを経験していませんでした。介護という現実を直面し、どうやってそれを乗り越えるのか、初めて考えさせられました。誰かが体調を崩した場合、周りがどう支え協力すればいいのか、その大変さを家族みんなが経験しました。それでも、今一番に思うことは、家族はかけがえのないものだということです。たとえ未来に何があっても僕は大丈夫だと思っています。困難よりも強い、家族の絆があるのですから。

年末年越し給食サービス をご利用しませんか

～おせち料理をお届けいたします～



社協では、下記のとおり年末年越し給食サービスを実施します。利用ご希望の方は社協までご連絡ください。

- 期 日 平成29年12月31日（日）
 - 配達時間 午後1時～3時
 - 利 用 料 無料
 - 対 象 者 町内在住で75歳以上のひとり暮らし高齢者
・平成29年12月31日までに75歳に達する方
・大晦日をご家族、ご親戚等と過ごされる方は除きます。
 - 申込方法 氏名、住所、年齢、電話番号を 12月18日（月）までに社会福祉協議会まで電話でお申し込みください。
 - 申 込 先 階上町社会福祉協議会 電話88-3067
- ※年末年越し給食サービスは、赤い羽根共同募金の配分を受けて実施します。

配達ボランティアを募集します

社協で実施する年末年越し給食サービスに関わる、配達（運転）ボランティアを下記のとおり募集いたします。

- 期 日 平成29年12月31日（日）
- 活動時間 午後1時～3時（集合時間12時20分）
- 集合場所 ハートフルプラザ・はしかみ
- 内 容 75歳以上のひとり暮らし高齢者のお宅へおせち料理の配達
・配達は自家用車となります。
階上町内5件～10件程度
- 配達範囲 12月18日（月）
- 申込期限 車両燃料は自己負担となります。
・ボランティア活動保険は本会で加入いたします。
- そ の 他 階上町社会福祉協議会
電話88-3067
- 申 込 先